



NPO 法人

首都東京みなと創り研究会

東京都練馬区西大泉3丁目13番44号

理事長 小倉健男

<http://members3.jcom.home.ne.jp/mtport>

## 「平成20年通常総会」の開催

当NPO法人の通常総会を次のとおり開催しました。

総会は会員数41名のうち30名(うち委任状の方が10名)の方が出席し、活発な議論の結果、議案は満場一致で可決決定しました。

19年度事業報告では、これまでの各部会活動(コンテナ、木材、東部地区、環境)に加え、新たに鉄鋼スラグを用いた水辺環境改善調査の報告がありました。この調査研究は20年度も引き続き実施していく事業計画として決定しました。

理事は任期満了になりましたが辞任した石渡理事を除いて全員が再任されました。石渡理事には木材部会を中心に活動いただき木材をめぐる問題を分りやすく報告書にまとめていただきました。心からお礼申し上げます。

総会後にはささやかな懇親会を開きました。今年は当NPOの活動が3年目に入ることから、新しい事業の提案や新会員の勧誘等、今年度事業の推進について大いに議論が盛り上がり、心を新たにしました懇親会でした。

(清水 記)

日時 平成20年5月21日(水)午後3時から  
場所 東京浜松町海員会館 第1会議室

### 総会次第

- 1 開会の辞
- 2 資格審査
- 3 役員の紹介
- 4 議長選出(議事録署名人の選出)
- 5 議事  
第1号議案平成19年度事業報告  
第2号議案平成19年度収支計算  
会計監査報告  
第3号議案平成20年度事業計画(案)  
第4号議案平成20年度収支予算(案)  
第5号議案役員の選任  
その他
- 6 議長解任(議事録署名人解任)
- 7 閉会

総会風景



総会后ささやかに懇親会



## 「東京港みなと祭り」ボランティア活動

平成20年「東京みなと祭り」は、5月24、25日の両日に晴海ふ頭をメイン会場に開催されました。「東京みなと祭り」では、東京港に輸入されるバナナ等の物販、東京港を利用している帆船や東京で活躍している浚渫船の見学公開、ドラゴンボート大会等盛りだくさんのイベントが開かれました。イベントのひとつに、一般都民から乗船希望者を募った、港内の体験乗船が25日に企画されました。

当NPOではみなとに関するボランティア活動の一環として、かねてより、みなと祭りへの参加を検討してまいり、港湾局と打ち合わせた結果、このクルージングに乗船して港内の案内等の活動をすることにしました。

ボランティアに参加する会員を募集したところ、小倉会長を始め11名の会員が参加することになりました。体験乗船の船は「シンフォニー」(日の出ふ頭、10時発)、「レディクリスタル」(青海ターミナル、10時半発)、「スーパーシティ」(青海ターミナル、4時半発)の3隻で各船ともおよそ150名の都民が乗船し、各船に会員が案内人として5名づつ乗船しました。



船室内での案内

当日は午前中はあいにくの強い雨でしたが多くの都民が参加しました。コースは、出航場所により順序が変わりますが、旧港地区から台場をとおり、レインボーブリッジをくぐり青海、大井7バースあたりで引き返す約1時間半の航程でした。

この間、マイクで船外の施設の説明をするとともに、身近にいる案内人が乗船者からの質問に答えたり、記念写真を撮ったり、話し相手になったりと活発に活動しました。

ちなみに、この機会に、当NPOの名前とロゴマーク入りの野外活動用のジャンパーと帽

子及び腕章を新調し着用しました。今後も野外調査等に活用していきます。

夕方出航の船は、雨も上がり、帰港するころ



デッキでの案内

には夕焼けも見られ、皆さん晴れ晴れとしておられました。

乗船者の質問、感想で多かったのは、大井コンテナのガントリークレーンの折れ曲がっている理由、コンテナ船の船腹には何段積んであるのか、台場に続く緑の島(旧防波堤)は何か、湾岸警察署はどこか、レインボーブリッジの下から見た巨大さに感激等々でありました。下船する際に、「去年も体験乗船に来たが、今年は去年と違い、説明の人が居て港のことが良くわかりました、有難うございました」の一言は、我々今回のボランティア活動をしたことの大変な励ましとなりました。参加会員は小倉(健)、小倉(隆)、柿崎、高野、高橋(清)、金子、中野、室井、盛野、大野(皓)、清水の皆様でした。(大野 記)



NPO ロゴ入りのジャンパー、帽子

## 調べてきました

「中国・上海港湾調査報告書」が完成しました。

平成20年2月24日～27日までの期間、NPO法人有志による中国・上海港湾の現況調査を実施してきましたが、このたび報告書が完成しました。

進展めざましい中国港湾事情、特に中国経済の発展に呼応するが如くに建設された（進行中）世界に例のない雄大な洋山深水港の現状レポートとあわせ、臨港新城地区、外高橋、並びに上海通運（日通）さんの日本顧客要望にあ

わせた一貫物流システム管理等の現場を視察、レポートしています。

また、東京港を視野に入れた参加者の目、様々な角度からの感想や意見等を収録した「参加者の記録」を掲載しています。世界の港湾の状況を把握する一助になれば幸いです。

なお、報告書はCD版にても発刊しておりますので、報告書とあわせ、必要な方は当NPOまでご連絡下さい。（小屋 記）



### 目 次

1 まえがき	-----	1
2 調査報告		
(1) 上海港の概要	-----	2
(2) 外高橋	-----	9
(3) 上海通運海貨倉庫の視察・ヒヤリング	-----	12
3 参加者の記録		
(1) 活動日程	-----	20
(2) 上海3泊4日 駆け歩き記 小倉健男	-----	21
(3) 上海港のターミナルの経営 高橋恵三	-----	26
(4) 上海港視察の参加感想 大野伊三男	-----	32
(5) 挙国一致の金儲け 小倉隆治	-----	34
(6) 上海報告（感想） 小屋功一	-----	38
(7) 上海港視察事務局日誌 清水武雄	-----	42
資 料		
上海日通資料	-----	45
中国港湾物流研究会 三浦さんの資料	-----	54
上海盛東国際コンテナターミナル資料	-----	60
新聞切り抜き 「洋上の人工港とリニア」	-----	63
新聞切り抜き 「リニア反対」上海住民“決起”	-----	64
新聞切り抜き 「洋山CT第3期、本格稼働」	-----	65

## 鉄鋼スラグを用いた水辺環境改善調査現地調査開始

鉄鋼スラグを用いた実験堤（写真右）は、城南島北西海域に構築し、いよいよ、実海域での環境改善の効果に関するモニタリング調査に着手しました。実験堤は、効果を比較するため天然石を用いた実験堤（写真左）と合わせ2基を、4月19日工事に着手し5月12日に完成しました。モニタリング調査は、今後、実験堤

の安定性や四季を通じて底質・底生生物・付着生物・水質の変化等から環境改善の効果を調べていきます。写真は、施工後1ヶ月目の調査として6月16日に実施された実験堤の強度試験・底質・底生生物調査を当NPOが現地立会いを行っているところです。（林 記）



実験堤の天端高：A.P. +0.50m 当日の潮位 A.P. ±0.00m



「環境アセスメント」 いまでは当たり前のこととして事業を開始する際には取組んでいることですが、ひとむかし前は・・・

東京港の埋立地の免許は、昭和五十一年一斉に期限がきて、延伸手続きが必要となっていました。(港湾計画の変更に伴う内容変更も含まれていた)

丁度この時期「港湾法」の改正があり、港湾計画の策定、埋立免許申請などの際に、環境アセスメントの実施が義務付けられたため、運輸省から「免許の変更手続きの際も同様である」との指導を受け、都港湾局で初めてアセスメントに取組むこととなりました。

今は亡き鬼頭副主幹(当時)のもとに関係者(若手)が集められ、日比谷のお堀端にあった三菱総研の事務室に缶詰になって、分厚い評価書をまとめました。

法律も条例もない時期、メンバーで議論しながら、資料を集め、加工し、計算条件の指示を出し、報告書の添削にと、夜遅くまで取組んだことを懐かしく思い出します。

その後、この東京港の免許アセスが全国の先例となり、受託した三菱総研はアセスの専門コンサルタントとして名を馳せることとなりました。

高野 一男

期限までに必要部数の図書を仕上げるために、最後はコピー機のスピードが問題となった時代の話です。

ところでよくよく考えてみると、当時取り組んだ港湾計画アセスや埋立アセスは今でいうところの「計画アセス」であり「総合アセス」であったと思います。

もとなる法律はもちろん「港湾法」、管理を港務局あるいは自治体に任せている画期的で、民主的な法律(当時研修でそのように教えられた)だからこそその仕組みと言えるのではないのでしょうか。

その後、条例や法律が整備され「環境アセスメント」は定着しましたが、それに伴いアセス逃れや早単独の事業ごとの評価によるアセフの問題点が出てきたことを考えると、当時取り組んでいたことは、時代の先を行っていたと胸を張れるのでは。



## 事務局から

事務局長 大野 皓一郎 090-6018-1013  
事務局 清水 武雄 090-3427-0370



19年度総会も無事終わり、当NPOの3年度目にあたる新たな年度に入りました。本号で御紹介していますが、2月下旬に調査した、上海港湾調査の報告書が出来ました。参加者の貴重な体験談等一読の価値がありますので、興味のある方は事務局まで一報ください。

また、みなと祭りの記事で紹介しました、すてきな野外活動用のジャンパー等については、当NPOの一般の方への周知用です。まだ予備があります、今後新たに野外調査等に参加する会員の方にはお配りしますので奮って御参加ください。